

令和7年度 国際化功労者表彰

公益財団法人しまね国際センターの令和7年度国際化功労者表彰式が8月7日に松江市で行われ、日本語ボランティア「奥いずも」が受賞されました。

日本語ボランティア「奥いずも」は平成16年に設立され、町内の在住外国人を対象に日本語学習や生活支援を行ってきたほか、在住外国人と地域住民の交流、企業との連携に携わるなど、長年にわたり地域の国際理解や多文化共生に寄与されました。

「奥いずも」代表の加藤さんは「コロナ禍で活動が危ぶまれる時期もあったが、近年は学習希望の外国人が増えてきた。今後も長く活動を続けていきたい」と話されました。



▲日本語ボランティア「奥いずも」代表 加藤智恵子さん



瑞宝双光章

か も と く す お
加本 楠雄さん(稲原)

加本さんは昭和36年から小学校教員として24年、教頭として4年、校長として8年初等教育に尽力されました。退職後も民生委員・児童委員として担当地区の福祉の増進や、幼稚園の園長として幼児教育の推進に尽力され、島根県公立幼稚園園長会の理事を務めるなど、本町の教育の振興、向上に貢献され、瑞宝双光章を受章されました。



令和7年度

全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会(インターハイ)

女子ホッケー部第3位

男子ホッケー部優勝

写真提供:家本啓佑さん



この快挙を受け、8月19日には仁多庁舎で結果報告会が行われました。男子キャプテンの古澤知宙さんは「チームとしてはスタートラインに立つたばかり。気を緩めることなく次の国スポや選抜大会で3冠を目指していきたい」と力強く挨拶をされ、女子キャプテンの栗原来さんは「去年は出れなかったから嬉しいという気持ちもあるが、日本一を目指していたから悔しい気持ちの方が大きい。国スポでは日本一をとりたい」と次試合への意気込みを語られました。

男子ホッケー部の優勝は2年連続9回目となります。横田高校ホッケー部の更なる飛躍が期待されます。



さしに激闘の連続でしたが、選手たちは最後まで粘り強くプレーを続け、この練習の成果を十分に発揮しました。

8月2日から6日にかけて開催された「令和7年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会」男子第88回・女子第67回全国高等学校ホッケー選手権大会において、横田高校男子ホッケー部が見事全国優勝を果たし、女子ホッケー部も堂々の第3位に輝きました。真夏の厳しい暑さの中で繰り広げられた試合は、まさに激闘の連続でしたが、選手たちは最後まで粘り強くプレーを続け、この練習の成果を十分に発揮しました。

第55回全国中学校剣道大会

8月23日～25日にかけて宮崎県で開催

なかばやし すず
中林 凛さん

激励式当日は都合により欠席

第44回全日本バレーボールクラブ選手権大会

8月8日～11日/福岡県で開催



へ た ひかり
部田 光さん

社会人チームでなかなか全員揃った練習や練習試合はできませんが、大会では去年の成績より上を目指し頑張ります。

第55回全日本中学生ホッケー選手権大会

8月15日～18日/男子が香川県、女子が愛媛県で開催



かのう
加納 このみさん

これまで日々基礎的な動きを中心に練習してきました。様々な場面で練習を活かした試合をして、結果を残し、応援してくださる方々に感謝を伝えたいです。

令和7年度全日本珠算選手権大会

令和7年度全日本珠算選手権大会

8月8日に京都府で開催



いしはら たくま
石原 拓真さん

期待に応えられるようチーム一丸となり、奥出雲町の代表としてよい報告ができるよう頑張ります。



たかはし みう
高橋 美佑さん

周りの選手にのまねず、今まで自分が練習してきたことを精一杯発揮して大会を楽しみます。

8月5日に仁多庁舎で激励式が行われ、選手たちが意気込みを述べました。

激励式が行われました

パソコンでいろんな音を作ろう

プログラミング教室開催!

8月17日に松江工業高等専門学校と奥出雲町役場主催のプログラミング教室をカルチャープラザに多で開催しました。

このイベントは子どもたちにデジタル技術に興味をもってもらい、将来のデジタル人材の育成につなげること、スマートフォンやタブレット端末などのデジタル技術が普及し、大人も子どもも孤立化が進む中で、地域や親子の繋がりを強くしていくことを目的としています。

当日は松江高専の先生と生徒の指導により、実際にパソコンへプログラミングを入力してオリジナルの音色を作り出すことに挑戦。親子で協力しながら試行錯誤をする姿や、完成した音色を聞いて喜ぶ笑顔で賑わいました。参加者からは「難しかったけど楽しい」「もっとやってみたい」などの声もあり、子どもたちが新しい学びに触れる貴重な機会となりました。



▲早稲田大学女子ホッケー部(えんじ色)と島根県成年女子チーム(黄緑)の皆様

奥出雲町では「奥出雲町企業版関係人口創出プロジェクト」として、令和6年度から株式会社ランブリッジ様と「日本一のホッケーの町 奥出雲町」の地域資源を活かしたスポーツ合宿の誘致や仕組みづくりのテーマでスポーツ合宿の受け入れ、体制構築の実証事業を行っています。

今回早稲田大学女子ホッケー部様にスポーツ合宿のモニターとして来町いただきました。合宿では、横田高校女子ホッケー部や島根県成年女子との練習試合、元オリンピックアンからの指導、AIカメラで撮影した動画での指導なども行われ、世代や所属を超えた交流により、グラウンドには終始生き生きとした明るい声が響いていました。

今回の合宿を通して、アクセスや合宿環境など多方面についてヒアリングを行い、今後のスポーツ合宿誘致や地域スポーツの活性化が期待されます。

早稲田大学女子ホッケー部ホッケーの町で合宿を実施